

さまざまな体験を通して 自然や科学のしくみ学ぶ

鯨と海の科学館では、さまざまな体験を通して地域の子供たちに自然や科学への関心を持ってもらおうと「体験教室」を開催しています。

6月10日に船越小学校の4年生29人が参加して行われた海藻標本づくりもその一つで、毎年「海の子学習」

の一環として取り組んでいるものです。子供たちは、浦の浜地区の海岸で採集した色とりどりの海藻を台紙に載せ、きれいに形を整える作業を行いました。5日間かけて乾燥させ学校に持ち帰った後、自分が作った標本に使った海藻の名称を辞典で調べながら、海への親しみをより一層深めていました。

この教室で海藻標本づくりの指導を行ったのは佐藤葵さん（船越・74）。教員を退職後、平成18年度まで10年以上にわたり鯨と海の科学館に指導員として勤務、現在も体験教室などの講師として海の生物などについて教えています。「海藻は海の食物連鎖の中でも非常に重要で、環境が悪化し海藻が死んでい



鯨館で行われた船越小の「海藻標本づくり」の様子

がら、山田の海の豊かさとその大切さを伝えていきます。

小学生を対象とした 体験教室開催します

体験教室は本年度13回の開催を予定しています。今後の教室は広報などでお知らせしますの

版画作ってみよう

盛岡市在住の木版画家、阿部陽子さんを講師に招き、版画教室を開催します。教室では、材質により変わる表現の違いを学びながら版画づくりに挑戦します。

▽日時 7月26日（日）
午前10時～午後3時

夏休み科学工作クラブ

町内の小学生を対象に「夏休み科学工作クラブ」を開催します。保護者も参加することができ、今度の夏休みは親子で楽しく科学を学んでみませんか。それぞれの講座ごとに定員になり次第締め切りますので、

ば海全体が死んでいく。海藻の種類が多くても豊富な山田の海を大切にしよう。子供たちには体験を通してそのようなことを学んでほしい」と話す佐藤さん。子供たちと触れ合いな

◆夏休み科学工作クラブの内容

開催日時	講座名
7月28日（火） 午前9時～正午	鯨のせっけんを使い 色々な動物を作ろう
7月31日（金） 午前9時～正午	誰にでも出来る 熱気球作り
8月3日（月） 午前9時～正午	海藻入りの紙をすいて 行灯（あんどん）を作ろう
8月6日（木） 午後1時～午後4時半	県立水産科学館 親子見学研修会
8月8日（土） 午前9時～正午	デコパージュに 挑戦しよう

参加を希望する方はお早めにお申し込みください。
▽日時と内容 右表のとおり
▽講師 佐藤葵さん（前鯨と海の科学館指導員）

▽定員 それぞれの教室ごとに20人（ただし8月6日の見学研修会は35人）
◆受講料 無料（材料代の実費負担があります）

◆申込期限 7月20日
◆申込先 鯨と海の科学館（☎84-33985）へどうぞ。

貝のアクセサリーなど 製作する体験コーナー

館内ラウンジでは、「海藻のしおり」や「貝のアクセサリー」を作ることができる体験コーナーを開設。希望すればどなたでも体験できますので、入館の

まもる先生からのメッセージ

「聞こえますか、海の声」



体験教室の講師を務める
佐藤 葵さん
（前鯨と海の科学館指導員）

山田の海には、年中いろいろな海藻が生育しており、「豊かな海」だといわれています。先日行われた海藻標本づくりでも、子供たちは海藻を採集しながら、海の様子や、海藻の中にいる貝やエビ、カニなどの小さい生物の生態を観察し、肌で感じる事ができたのではないのでしょうか。

海藻は、食用や糊の原料、薬用、洗剤や髪的美容剤、染物の原料にいたるまで

幅広く利用されており、日本人ほど海藻を利用している国民は世界に例を見ないといわれています。

しかし、海洋汚染の調査の一つとして海藻の調査が最近行われていますが、ここ数十年の山田湾の海藻の生育状況をみると、種類や繁茂量が減少傾向にあると思われます。

風光明媚で豊かな山田の海を未来永劫に伝えるため、海の声に耳を傾け、一人一人が何をできるか考えて実践していきましょう。